



記者

「コラム」

突発性難聴にかかったおばあさんが、内科検査のために病院に向かった。受付や待合室で職員の言葉が聞こえず、医師からは「耳が聞こえないなら1人で来てはだめだ」と、検査を拒否されてしまう。要約筆記入門講座で見た聴覚障害者がテーマのビデオ。状況によっては、現実起こりうる出来事。

音の聞こえない世界など考えたこともないが、突然病気で音を奪われてしまうこともある。

「要約筆記」普及へ活動続ける

年齢とともに聞こえにくくなることは誰でも同じ。手話は使うことも理解することもできない。耳が聞こえなくなったら、文字として書いてもらわなければ何もわからない。

要約筆記は、聴覚障害者にその場で内容を伝える文字通訳。手書きやパソコンを利用し、話す内容を要約しながら示していく。残念ながら、現状ではあまり知られていないため、伊東市要約筆記サークル「みかん」が普及活動を続けている。活動に参加しなくても、内容を知っておくことは必要だと思つ。(杉)